

科目名	博物館実習			科目コード	5204
開講学科	学芸員課程	単位数	3	形態	講義
教員名	河田昌之・五十嵐公一				
授業の目的及びテーマ					
博物館の学芸員の資格を習得するため、実際に博物館で働いている学芸員の仕事の一端を実習し、学芸員の仕事を理解することを目的とします。					
授業概要					
学内実習・見学実習・館園実習の3本立で行います。学内実習と館園実習を大学内の講義室と博物館で行います。見学実習は個々に行ってください。					
授業計画					
<p>第 1 回：立体物を対象にした資料の取り扱い 1・・・陶磁器や香合などの茶器類、収納箱</p> <p>第 2 回：立体物を対象にした資料の取り扱い 2・・・陶磁器や茶器類、彫刻の調書作成や展示用</p> <p>第 3 回：立体物を対象にした資料の取り扱い 3・・・展示方法（テグスの利用）</p> <p>第 4 回：立体物を対象にした資料の取り扱い 4・・・梱包方法（梱包資材の製作と使用）</p> <p>第 5 回：立体物を対象にした資料の取り扱い 5・・・拓本の採り方、裏打ちの方法（レリーフを資料として）</p> <p>第 6 回：平面資料の取り扱い方 1・・・掛け軸</p> <p>第 7 回：平面資料の取り扱い方 2・・・巻物と画帖</p> <p>第 8 回：平面資料の取り扱い方 3・・・キャプション制作、作品解説の書き方</p> <p>第 9 回：平面資料の取り扱い方 4・・・資料調書の取り方</p> <p>第 10 回：平面資料の取り扱い方 5・・・ライティングの方法</p> <p>第 11 回：館園実習 1：大学博物館の施設見学（収蔵庫、空調システム等）</p> <p>第 12 回：館園実習 2：展示ケース等備品の説明</p> <p>第 13 回：館園実習 3：模擬展示の計画案作成、展示計画案のプレゼンと展示内容の決定</p> <p>第 14 回：館園実習 4：模擬展示の作業（会常設営、作品移動、展示）</p> <p>第 15 回：館園実習 5：模擬展示の作業と微調整、展示作業の終了と公開、講評ならびに撤収</p>					
テキスト	「新時代の博物館学」 全国大学博物館学講座協議会 西日本部会編（芙蓉書房出版）		参考文献		
評価方法：					
面接授業（スクーリング）と実習記録（内容）を総合的に評価する					